

いつまでも交流の輪を大切に

友好都市教育親善大使の学校訪問

友好都市アメリカ・コロンバスの小学校教諭のリンダ・ブラウンさんが10月14日から23日までの10日間、教育親善大使として来町しました。滞在中、町内の全小中学校を訪問。児童・生徒や教員たちと教育交流を図りました。10月20日には今回のホスト校の北部小学校6年生全員が、手作りのカードと手話を交えた歌をプレゼント。リンダさんは「今後も両市町の子どもたちが、仲良く交流のきずなを深められますように」と願っていました。



はつらつと芸才を披露

三好町老人芸能大会

お年寄りに歌謡や舞踊、楽器演奏などを通して交流を深めてもらおうと10月20日、三好町老人芸能大会がサンアートで開催されました。老人クラブ会員139人が参加し、はつらつとした演技を披露。中でも、中島地区の会員10人による、本場のダンサーから教わったイエメンダンスなどが発表され、会場を魅了しました。中島支部長の内田元さんは「簡単なステップでも皆でそろえるのは大変でした」と笑顔を見せていました。



防犯対策は普段の心掛けから

防犯診断

10月11日から20日までの全国地域安全(防犯)運動期間に合わせて、地域の犯罪防止意識を高めようと10月19日、三好下地区内で防犯診断が行われました。参加した三好下行政区防犯安全パトロール隊員5人は、豊田警察署員から事例を交えた防犯対策に関する指導を受けました。その後、実際に隊員宅を防犯対策ができていのかを診断。隊員の一人は「小さな窓だからと油断せず、きちんと鍵を掛けます」と気を引き締めていました。



世代を超えた触れ合いを体験

三好高校生「秋の体験学習」

福祉や保育体験を通して人と触れ合い、普段と異なる環境の中で新しい人間関係を創り出すことを目的に10月20日、三好高校の1年生220人が秋の体験学習を行いました。シルバー人材センターでは、8人の生徒が自動車部品加工の軽作業や花きの栽培、リサイクルステーションの分別指導などを体験。花の苗のより分け作業を行った佐々木勇輔（ゆうすけ）さんは「枯れた花を摘み取るなど、細かい作業なので大変」と話していました。



さまざまなイベントを満喫

三好矯正展（名古屋刑務所）

地域の人に矯正行政に対して理解を深めてもらうと10月22日と23日の2日間、名古屋刑務所で三好矯正展が開かれました。刑務所の歴史や業務内容のパネル展示、受刑者が生活している居室の実物大模型の展示や刑務所作業製品展示即売などさまざまなイベントを実施。また実際に刑務所作業として行われている七宝焼の制作体験には、多くの親子連れなどが参加し、素材に思い思いの色を着けオリジナル作品づくりを楽しみました。



音楽で芸術の秋を堪能

みよし音楽祭「合唱交流会」

毎年恒例の秋のイベント「みよし音楽祭」の合唱交流会が10月20日、サンアートで開催されました。この交流会には三好愛知合唱団、コール三好丘、三好女声コーラスの3団体が出演。それぞれが美しいハーモニーの歌声を披露し、集まった観客を楽しませました。出演後、客席でほかの団体の演目を聞いていた女性は「ほかのグループの歌を聴くのは、とても良い刺激になります」と、芸術の秋を堪能していました。

